

## 行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5\_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

### 施策 5-4\_近代化産業遺産の保存活用・整備の充実

基本計画		事業番号	細事業名称
5-04-01	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進	02633_01	端出場水力発電所管理運営費
5-04-01	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進	02639_01	山田社宅管理運営費
5-04-01	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進	10607_01	広瀬歴史記念館施設環境整備事業
5-04-02	別子銅山の歴史の伝承・情報発信	02257_02	近代化産業遺産情報発信事業
5-04-03	多喜浜塩田文化の保存・継承	10543_01	多喜浜塩のまちづくり事業補助金

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02633_01		
事業名(行目名称)		端出場水力発電所管理運営費		端出場水力発電所管理運営費				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策				
	基本計画	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進		担当課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内外観光交流人口(マイントピア別子来場者数)			数値	376,545人		
	手段(どうやって)	旧端出場水力発電所について、適正に施設の管理運営を行う。なお、より効果効率的に施設の管理運営を行うため、一部業務を民間事業者に委託する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山産業遺産である旧端出場水力発電所を保存活用することで、別子銅山の歴史的価値を後世に継承するとともに、学術や文化の向上、観光の振興に資するための施設とする。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース  ○需用費 2,664千円 ○役務費 49千円 ○委託料 6,482千円 ○使用料及び賃借料 498千円		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費			9,693	9,693	7,806			
財源	県・国支出金		0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他		0	0	0			
一般財源			9,693	9,693	7,806			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
施設見学者数			目標値	—	—	20000	40000	40000
			実績	—	—	22830	35414	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
職員が常駐している施設ではないため、緊急時における連絡体制及び迅速な初動体制の整備が求められる。また、利用者が季節や天候に大きく影響されるため、今後における施設見学者数の維持や増加に向けた取り組みが必要となる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
立地環境や設備関係における不利な条件を補う適正な運営管理のための人員配置及び物価の高騰などを踏まえた予算要望とする。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
旧端出場水力発電所の適正な管理運営、効果効率的な管理運営を行うことができた。適正な管理運営、展示内容の維持管理により、別子銅山の歴史的価値の認知、マイントピア別子端出場ゾーンをはじめとした、別子銅山産業遺産関連の観光の振興に寄与することができた。しかし、施設見学者数は目標値を下回った。令和6年度以降、指定管理者制度を導入することにより、さらなる効果効率的な施設の管理運営、施設見学者数の増加を目指す。								

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02639_01		
事業名(行目名称)		山田社宅管理運営費		細事業名 山田社宅管理運営費				
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実				
	基本計画	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進		担当課 別子銅山文化遺産課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市内外観光交流人口(マイントピア別子来場者数)			数値	376,545人		
	手 段 (どうやって)	令和8年度以降のオープンに向け、建物耐震改修工事や外構工事、学識経験者による調査・聞き取り等を実施しながら施設を維持管理し、一部施設の限定公開を行う。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	別子銅山産業遺産である住友山田社宅を保存活用することで、別子銅山の歴史的価値を後世に継承するとともに、学術や文化の向上、観光の振興に資するための施設とする。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費 226千円</li> <li>○需用費 628千円</li> <li>○役員費 139千円</li> <li>○委託料 4,528千円</li> <li>○使用料及び賃借料 4,300千円</li> </ul>		
経費			9,821	9,821	8,913			
財 源	県・国支出金		0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他		0	0	0			
一般財源			9,821	9,821	8,913			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
施設見学者数			目標値	—	—	200	400	600
			実績	—	—	182	318	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
施設がフルオープンするまでの間も、整備工事を行いながら限定公開を継続するため、公開部分を含め敷地内の安全で適正な維持管理が必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
施設のオープンに向け、内容を精査しながら必要な維持管理を行っていく。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
住友山田社宅の清掃や剪定、除草等を行い、適正に管理運営を行うことができた。また、住友山田社宅のガイドの実施により、別子銅山の歴史的価値の認知、別子銅山産業遺産関連の観光の振興に寄与することができた。しかし、施設見学者数は目標値を下回った。今後も引き続き住友山田社宅の適正な管理運営、建物耐震改修工事や外構工事等を行うとともに、施設見学者数の増加に向けた方策を検討する。								

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10607_01		
事業名(行目名称)		広瀬歴史記念館施設環境整備事業	細事業名	広瀬歴史記念館施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	近代化産業遺産の保存活用・整備の充実			
	基本計画	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進	担当課	別子銅山文化遺産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	広瀬歴史記念館	数値	一式			
	手段(どうやって)	広瀬歴史記念館(展示館)空調設備改修工事(機械設備・電気設備)を実施する。 (機械設備)パッケージエアコン、エアハンドリングユニット等の更新 (電気設備)動力設備、中央監視制御設備等の更新					
	目的(どんな状態にしたいのか)	長寿命化計画に基づいた計画的な修繕を行うことで、施設環境の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 109,560千円	
経費			109,560	109,560	99,944		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		98,600	98,600	89,900		
	その他		10,960	10,960	10,044		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
契約締結件数		目標値	3	0	2	2	3
		実績	3	0	2	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
設計書記載内容にない事態が生じたときは、関係課と協議の上、予算の範囲内で変更契約を締結する必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
経年劣化した旧広瀬邸醤油庫西外壁杉板修復等を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
計画的な修繕により、展示館の空調設備改修工事を実施したことで、施設を良好な状態に維持管理するとともに、来館者の快適な施設利用を確保することができた。今後も計画的に修繕を行うことで、施設環境の向上を図る。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02257_02		
事業名(行目名称)		近代化産業遺産まちづくり推進費		細事業名 近代化産業遺産情報発信事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実				
	基本計画	別子銅山の歴史の伝承・情報発信		担当課 別子銅山文化遺産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内外観光交流人口(マイントピア別子来場者数)			数値	376,545人		
	手段(どうやって)	別子銅山産業遺産ウォーキング(旧 自然散歩)・別子銅山産業遺産創造塾・企画展等の実施や、産業遺産マップの作成・配布等による情報発信を、市内外に向け幅広く継続的に行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内外の多くの人に新居浜市内に数多く残された近代化産業遺産の価値を正しく認識してもらう。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		923	1,019	1,019	968			
財源	県・国支出金	0	0	0	0	○報償費 5千円 ○需用費 381千円 ○役務費 17千円 ○委託料 616千円		
	地方債		0	0				
	その他	27	165	165	26			
	一般財源	896	854	854	942			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
資料(マップ)作成数			目標値	5000	5000	0	10000	10000
			実績	5000	10000	0	11800	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
別子銅山産業遺産ウォーキング(旧 自然散歩)、別子銅山産業遺産創造塾の実施に加え、産業遺産巡りの新たな企画を実施予定である。また、マイントピア別子や日暮別邸記念館との連携による情報発信を行うほか、関連作品展やパネル展の実施も予定している。別子銅山関連施設等との連携による情報発信力のさらなる強化が必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
別子銅山産業遺産ウォーキング(旧 自然散歩)、別子銅山産業遺産創造塾はこれまでの実績を重ねて今後も一定の効果が期待できる。情報発信事業は幅広い対象に継続的に行うことが重要であるため、内容を精査しつつ事業を継続する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
別子銅山産業遺産の関係者、関係施設等との連携協力のもと、イベントの実施やパンフレット作成・配布を行い、別子銅山産業遺産についての情報発信を行うことで、別子銅山の歴史的価値の認知、別子銅山産業遺産関連の観光の振興に寄与することができた。また、資料(マップ)作成数は目標値を上回った。今後も引き続き多様な手段により別子銅山産業遺産の情報発信を行う。								

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10543_01		
事業名(行目名称)		塩のまちづくり事業費	細事業名	多喜浜塩のまちづくり事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	近代化産業遺産の保存活用・整備の充実			
	基本計画	多喜浜塩田文化の保存・継承	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	多喜浜校区住民及び市内外の塩文化に関心のある人		数値	3670人		
	手段(どうやって)	①学校敷地内に設置されたミニ流下式塩田「ソルティ多喜浜」への維持・管理 ②多喜浜小学校児童のESDの取り組みへの協力。③市内小学6年生対象のふるさと学習(塩田学習)の実施への協力。④「塩の学習館」を利用した塩づくり体験の実施と多喜浜塩田遺跡巡り等の対応。⑤「ソルティ多喜浜」「塩の学習館」「多喜浜資料展示室」の見学者への対応。⑥塩田かるたを通して地域の子どもたちへの多喜浜塩田の保存継承活動の実施。⑦多喜浜小学校児童を対象とした「塩田讃歌」踊りの普及事業の実施。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	近代化産業遺産である塩田の文化を後世に伝えるために、子どもから高齢者まですべての世代が協力し、その発掘を保存伝承を図ること、ふるさとへの誇りと愛着を深める。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		190	190	190	190	○負担金補助及び交付金 190千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	190	190	190	190		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
参加者数(延べ人数) (ふるさと学習を含む)		目標値	2000	2000	100	1000	1000
		実績	511	669	44	601	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>昨年度より継続して活動内容等のマニュアルの作成や、塩田遺跡巡り等の事業内容の見直しを行うことにより、事業の中心を担う人材の育成にも努めている。参加者数については、昨年度に比べると現時点では減少しているが、10月以降には市内小学6年生を対象とした、ふるさと学習を実施するため、受入れ体制を整える。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>郷土の近代化産業遺産である多喜浜塩田の文化を後世に伝えるために、すべての世代が協力し、その発掘と保存・継承を図ることは、人と地域の力で豊かな心を育み、学び合うまちづくりに繋がることから、本事業を継続する。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>保護者や地域、自治会、PTAへの呼びかけを行うことで昨年度と同程度の参加者数を維持することができた。新たにマニュアルも整備できたため、文化継承のための後継者を育成するとともに、引き続き保存継承活動に取り組みたい。</p>							

## 令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				